

坂井市 社協だより

もくじ

平成22年度坂井市社会福祉協議会 事業報告・決算報告	P2
お知らせ	P3
シリーズ ふだんのくらしのしあわせ名人発 ほくのわたしの ふくしでまちづくり	P4
みんなの広場	P5
ありがとうございます/ 相談のご案内 他	P6

あいがとう! タイガーマスク



れんげキッズのみなさんへ
みなさんの何かお役に立てることが
ないかと思いついてきました。
今回、図書など購入していただければと、些少ではございますが寄付させていただきます。

三國のタイガーマスクより

“れんげキッズ”とは、
社協が行う事業で、障がい
児等の見守りや日常的な訓
練等を行っています。



平成
22年度

坂井市社会福祉協議会事業報告・決算報告

事業総括

平成22年度市社協では、将来にわたり地域福祉活動を進めるため、組織や財政など法人強化に特化した「第1次坂井市社会福祉協議会発展・強化計画」の1年目に着手しました。

また、地域の方々が安心して暮らすことができる福祉サービスを展開するべく、「坂井市福祉保健総合計画（行政計画）」の方向性や「第1次坂井市社会福祉協議会発展・強化計画」で明らかになった地域福祉活動推進部門の進め方を元に、各支部や委員会に参加する住民の方々と協議しながら「地域福祉活動計画」の策定に着手しました。

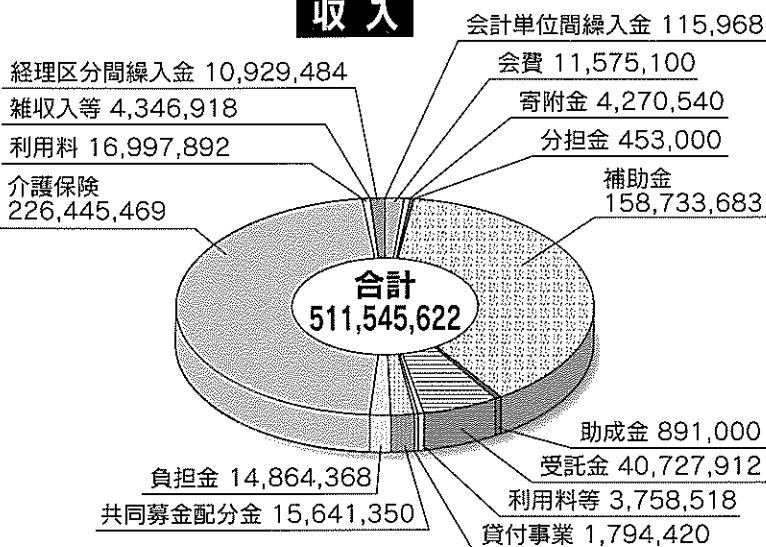


5月26日（木）評議員会にて、事業報告・決算報告を行いました。

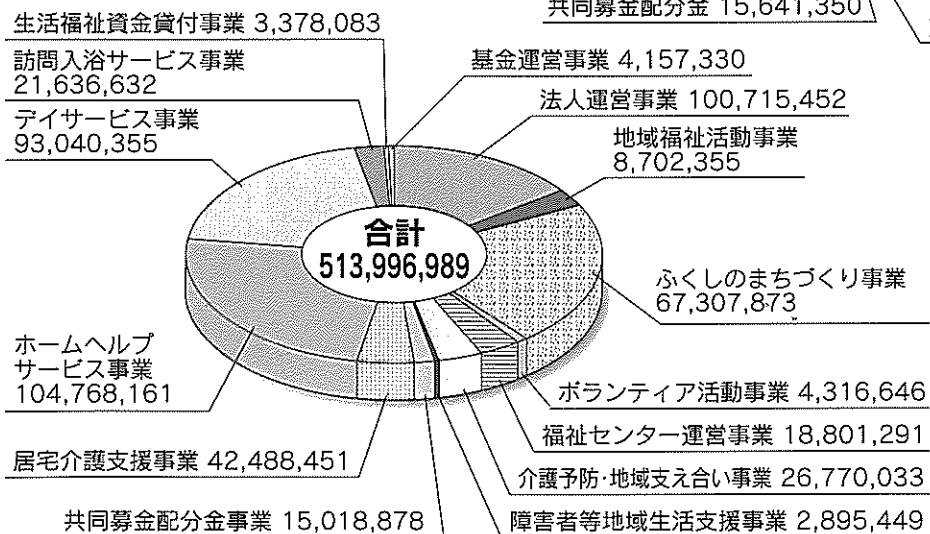
一般会計

（単位：千円）

収入

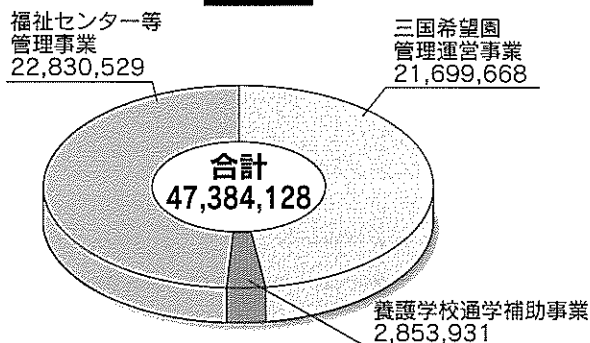


支出

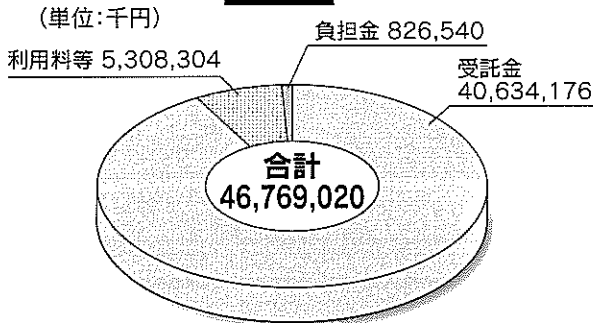


特別会計

支出



収入



社協会費ありがとうございました

各世帯よりご協力いただきました社協会費は、平成23年度に社協が行う市内の福祉サービス充実のために活用させていただきます。

社協会費で行う主な事業

福祉啓発



福祉の啓発や向上を図るため、市民や福祉関係者等を対象とした社会福祉大会の開催経費

福祉サービス



公共交通機関の利用が困難な方への移動支援サービス事業の実施経費

社協新事業

障がい者

施設入浴サービスのご案内

市社協では、自宅での入浴に困難の障がい者（児）の方を対象に専門スタッフによる入浴介助を行います。

■お問い合わせは

市社協 障がい者

施設入浴サービス係

TEL 67-0640



横になった状態でも入浴可能な浴槽

いつまでも元気で

「うきうき」した

生活を送りたい60歳以上の方

社協新事業

マンデイクラブ 利用者募集

ご利用者一人ひとりの体力や健康状態を把握し、それにもとづき健康づくりのプログラムを作成して、トレーニングマシンを利用した体力づくりをします。

※健康運動指導士等がプログラムの作成・トレーニングマシンの指導にあたります。

ご利用方法

利用日 毎週月曜日 午前9時30分～午後3時
利用料 1回 700円
トレーニングマシン使用料 ※入浴可
施設 いきいきサロンセンター あい愛
(坂井市三国町薬円 53-16-1)

◎グループでのご利用もできます。

■お問合せ先 市社協 高齢者生きがい係 TEL 67-0640

見学自由

【トレーニングの流れ】

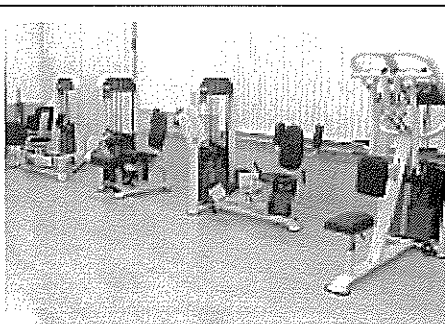
9:30～12:00

健康チェック

健康運動指導士による運動指導

13:00～15:00

自由活動



【事務所移転のお知らせ】 市社協では、7月1日より、まるおかホームヘルパーステーションを、坂井市ホームヘルパーステーション(市社協さかい支部)に統合しました。

今回の名人「パ パ イ ク」

シリーズ ふだんのくらしのし あわせ名人発

ぼくの わたしの
ふくつでまなびてい

Q 今、なぜ父親が子育てですか？

子どもは誰を見て大人になっていくのでしょうか？親であり、先生であり、地域の大人たちです。その大人たちが、笑顔で楽しそうに生きていなければ、子ども達が夢や目標を持つことは難しいでしょう。そのモデルとなるべく一番身近で遠い存在になってしまっているのが父親です。子は親の背中を見て育つと言いますが、背中を見せていない現代の父親。子どもはモデルがなく、苦しんでいます。今ほど父親が求められている時代は無いと思います。

Q 具体的に父親の子育てとは？

特に父親と限定することではありませんが、何でも口を出すのではなく、ある程度の距離を置き見守ることが得意なのが父親のように思います。今の子どもはすべての行動を大人の指示のもとに行い

ます。成功しても失敗しても大人のおかげであり、大人のせいなのです。そのため、十分な満足感や達成感を得ることができません。子どもが自分に自信を持っていない原因の一つです。子どもがやりたいと思うことを応援し、自ら考え行動させ、失敗したり成功したりという体験をどんどん積み重ねていく。それにより最高の満足感を得て、自分を肯定できる夢をもった子どもが育っていくのだと思います。

Q 子どもの育つ力を伸ばすというのは、会の活動ともいえますか？

そうですね。「パバジャングル」のスローガン『父子笑伝（ふししようにん）』はまさしく子どもへのメッセージです。父親自身が笑顔で人生を楽しんでいる姿を見せることで、子どもたちが大人になることへの夢や希望を抱いてもらうことを目指しています。子どもに

子どもたちにとって冒険する夏休み！外に飛び出しいろいろなことを見て、触れて、体験します。また、親にとっても子どもたちと一緒に過ごす時間が増えます。
今回は、父親の立場で子育て支援に取り組むグループに、父親が子どもを育てる本当の意味についてお聞きしました。

夢を持つてほしければ父親が夢を持てばいい。子どもに笑ってほしければ父親が笑っていれればいい。人生の楽しいことをたくさん子どもに語り伝えていく。ということ。子どもは大人が育てようとしなくても、自ら育つ力を持っています。そこを引き出すような関わり方をすること。それがもう一つのスローガンである「笑育」です。「笑育」は子どもにとっては心の栄養。大人の愛情あふれる笑顔があれば子どもは自ら育つ力を発揮します。

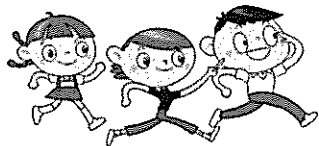
Q 『笑育』は子どもたちだけでですか？

僕たち大人も一緒ですね。やっぱり人に褒められると嬉しいし、自分を必要だと言ってくれる人がいると頑張りたいという意欲が生まれます。僕は子ども達の笑顔に生かされていて、子ども達が僕の前で笑ってくれることで自分がこの世に存在する意味を感じています。



子どもたちから「荒仁（アラジン）」と呼ばれ親しまれているNPO法人パバジャングル代表の荒巻 仁さん

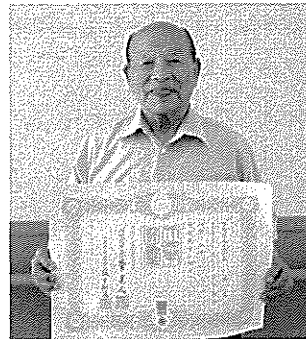
NPO法人「パバジャングル」（代表 荒巻 仁）2009年10月NPO法人認可。幼稚園に通う子どもたちの父親で組織する「パバクラフ」の活動を経て設立。子育て支援事業や父親の子育て力向上事業など、会の活動を中心に坂井市から指定を受け放課後児童クラブ「放課後子どもジャングル」を行っている。この夏は、東日本大震災で被災した福島県南相馬市の子供たちの受け入れをします。



みんなの広場



緑綬褒章受章



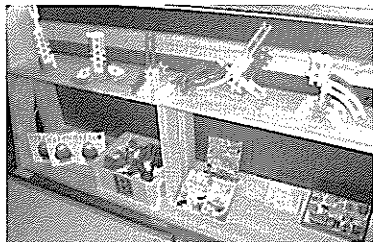
森 清見さん
(三国町)

平成23年春の褒章にて、森清見さんが、緑綬褒章を受章されました。

森さんは、三国町内での一人暮らし高齢者宅への訪問活動など、いろいろなボランティア活動に永年取り組んでこられた功績を認められての受章となりました。

ありがとう

れんげキッズ親の会から、手作りで作った木製棚を2台いただきました。本やおもちゃが整理され、使いやすいくなり、部屋もスッキリしました。



生講集 精神保健福祉 受募 ボランティア講座

ストレス社会と言われる現在、こころの病は誰でもなりうる病気です。この講座では、一般の方々にこころの病等に関する理解を深めていただき、精神障がい者の身近な支援者であるボランティアの育成を目的に開催します。

●日時 平成23年9月22日(木)

～10月25日(火)の期間内で3回シリーズ

●会場 坂井健康福祉センター
(あわら市春宮2-17)

●内容

第1回 9月22日(木)

午後1時30分～午後4時30分
開講式、オリエンテーション他

第2回(①②③の選択)

①9月24日(土)

午前10時～午後3時

「すぎなまつり」イベント参加

②③10月上旬～中旬

*午後1時30分

「当事者、すぎなの会との交流活動体験」

第3回 10月25日(火)

午後2時～午後4時

講義、意見交換会、閉講式

●募集人員 20名程度

●参加費 無料

*第2回(9/24)のみ500円

●募集期間 平成23年9月6日(金)まで

お申し込み・お問い合わせは

坂井健康福祉センター

福祉健康増進課まで

TEL 73-0609

FAX 73-0763

福祉委員レベルアップ研修報告

5月22日(日)福祉委員レベルアップ研修会を開催しました。当日は、住民流福祉総合研究所所長の木原孝久氏を講師に迎え、研修テーマ「支え合いマップ」について学びました。木原先生は、市内で高齢者サロンを実施している方々から、地域の情報を聞き取りながら、支え合いマップの作成を実演。参加した福祉委員の方もグループになって、支え合いマップをつくりました。慣れない作業に奮闘しながらも、一目で地域の様子が見て取れるマップにいろいろな発見があったようです。



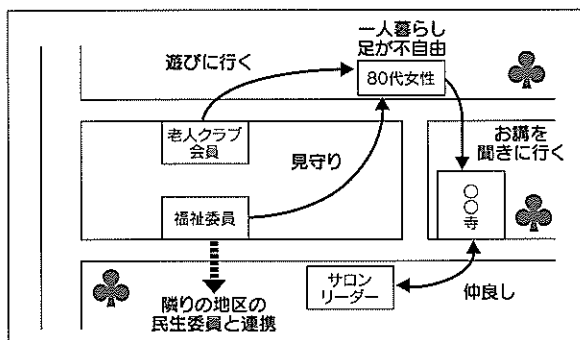
聞き取りをしながらマップを作成する講師の木原氏(写真中央の男性)

【今後の福祉委員の取り組み】
今回の研修を踏まえて、市内各地区の福祉委員会でマップづくりを計画し、実施しています。支え合い活動には必要な情報が得にくい現代ですが、地域の情報をつかむ手段として、マップづくりに取り組んでいきます。

支え合いマップとは

Q. なぜ支え合いマップをつくるの?

A. 情報を地図に書き示すことで、地域の支え合いの様子が分かるからです。



支え合いマップの特徴を、つくり方の手順で説明すると、まず、住宅地図を用意します。次に①地域のなかの「気になる人」をマーキング(「気になる人」とは高齢者の一人暮らしや、障がいを持つ方など、ともに地域で生活するうえで、気にかけてあげる必要があると思われる人全般を指す言葉です)し、次に、②それらの方々に誰がどんなふうに関わっているのかを矢印で示します。さらに、③気になる人の状況や関わりの内容などを地図に書き込みます。

どうでしょう!気になる人が地域でどのようにつながっているのか。また、いざという時、その人の情報を持っているのが誰なのかが一目瞭然ですね!!



ありがとうございました

(5月11日～7月8日受付分) 敬称略、順不同

寄付者	住所	金額
鰐淵 さゆり	丸岡町	30,000円
坪田 正彦	丸岡町	10,000円
丸岡ライオンズクラブ	丸岡町	5,000円
イレブン友の会	三国町	20,000円
匿名7件		33,480円

皆様からのご寄付は、社協が実施する福祉事業に使わせていただきます。

物品及び収集活動にご協力いただいた方の氏名は、各支部にて掲示させていただきます。

東日本大震災被災地の 早期復興を祈ります

坂井市社会福祉協議会は、災害積立金の一部1,000,000円を東日本大震災義援金として寄付しました。

また、福井県内社協が支援する岩手県陸前高田市社協の復興支援金として300,000円を寄付しました。



福井県共同募金会へ
義援金の目録を渡す
青木市社協会長
(写真左)

会場	会場	会場	会場
三国社会福祉センター	丸岡総合福祉保健センター	春江総合福祉センター	坂井老人福祉センター
無料法律相談	無料法律相談	無料法律相談	無料法律相談
1日(月) 紅谷 崇文 弁護士	9日(火) 川上 賢正 弁護士	24日(水) 高橋 功 弁護士	25日(木) 村上 昌寛 弁護士
心配ごと相談	心配ごと相談	心配ごと相談	心配ごと相談
8日(月)15日(月)22日(月)	2日(火)16日(火)23日(火)	3日(水)10日(水)17日(水)	4日(木)11日(木)18日(木)
結婚相談	結婚相談	結婚相談	結婚相談
8日(月)22日(月)	1日(月)15日(月)	4日(木)18日(木)	4日(木)18日(木)
無料法律相談	無料法律相談	無料法律相談	無料法律相談
5日(月) 岡本 矢 弁護士	13日(火) 川上 賢正 弁護士	21日(水) 黛 千恵子 弁護士	22日(木) 羽山 茂樹 弁護士
心配ごと相談	心配ごと相談	心配ごと相談	心配ごと相談
12日(月)26日(月)	6日(火)20日(火)27日(火)	7日(水)14日(水)28日(水)	1日(木)8日(木)15日(木)
結婚相談	結婚相談	結婚相談	結婚相談
12日(月)26日(月)	5日(月)	1日(木)15日(木)	1日(木)15日(木)

※婦人福祉協議会の結婚相談は、毎月第1・3土曜日 午前10時～午後3時に坂井市庁舎別館（本庁舎左側）でも開催しています。

無料法律相談	心配ごと相談	結婚相談
各会場、開催日1週間前から電話予約にて受付します。※先着9名まで	相談員は、民生委員・児童委員の方です。	相談員は、婦人福祉協議会の方です。

各相談は、開催日の午後1時～4時です。無料法律相談は混雑が予想されますので、お一人様20分の相談時間とさせていただきます。相談予約、お問い合わせは、市社協各支部まで。

●各支部へのお問い合わせは・・・

- みくに支部 坂井市三国町中央1-6-3(三国社会福祉センター内)
TEL 82-1170 FAX 82-1593
- まるおか支部 坂井市丸岡町八ヶ郷21-7-1(丸岡総合福祉保健センター内)
TEL 68-5060 FAX 67-2950
- はるえ支部 坂井市春江町江留中10-15-1(春江総合福祉センター内)
TEL 51-4545 FAX 51-6269
- さかい支部 坂井市坂井町下新庄19-1(坂井老人福祉センター内)
TEL 67-0640 FAX 67-2807

窓口の時間

毎週月曜日～金曜日
(祝日・年末年始除く)
午前8時30分～
午後5時30分